

アーヴィングの詩あしたの詩



1998

社団法人日本作詩家協会年刊詩謡集

# きよの詩あしたの詩

社団法人 日本作詩家協会年刊詩謡集  
1998年版

# 落葉樹は私の詩の師

会長 星野哲郎

落葉樹は、

季節の移ろいを素直に表現する  
感性豊かな優れものです。

私は、その生命体に

人生の流转と輪廻を感じます。

若葉、青葉、紅葉、病葉、枯葉、、、  
どの樹葉をとっても詩そのものです。

ある時は優しく、

また、ある時は挑戦的に

落葉樹は私にウインクしてくれます。

ほら、描いてごらん

ほら、スケッチしてごらんつてー。

冬は寒々しい裸木になつても、

春には初々しい希望の芽葉です。

落葉樹に人生とは何かと問い合わせ、

落葉樹に詩の心を教えてもらう。

落葉樹は私の詩の師です。

さて、ここに掲載された詩は、  
一篇として同じ詩はありません。

百人百色。常緑樹あり、落葉樹あり。  
楽しいですね、嬉しいですね。



## 目 次

(氏名 五十音順)

落葉樹は私の詩の師 ..... 会長 星野哲郎 ..... 一

あい	つ	青木	創	一六
女の夢は虹なのか		青木	正	一七
わたしの駅		赤坂	佳津子	一八
ふるさとは万華鏡		明石	紘美	一九
夢結び	秋篠さと	二〇		
酒場	秋田泰治	二一		
信濃にありて	明科昌門	二二		
風の別れ道	麻	二三		
ふたりの風雪	飛鳥井芳朗	二四		
婚約成立	荒川利夫	二五		
カラスの女房	荒木とよひさ	二六		
チャンネル	有村季佑	二七		
あなたと暮らしたい	栗てるこ	二八		
一人ぼっちのがしんたれ	淡路しのぶ	二九		
忘れ貝	安藤潤	三〇		
港町のおんな	飯塚義美	三一		
もう一度逢いたくて	飯田悠介	三二		
泣くなよ	いけやかつとし	三三		
朝帰り	池谷ひろし	三四		

いで湯のまち	生田 恵子	三五	
人のこころも花盛り	生駒 かつゆき	三六	
お吉しぐれ	石 黒 忠	三七	
立待の月	石津 まさみち	三八	
おんな鳴唄	石本 美由起	三九	
男の本懐	泉のぼる	四〇	
大地の音	いそのあきお	四一	
北の駅	伊丹 領唯	四二	
小説みたいね	わたしの人生	伊藤 一生	四三
命の重さ尊さ	伊藤 悟	四五	
縁は異なるもの	伊藤 久子	四五	
深呼吸	伊藤 上裕	四六	
ぶらり電車で	井口 政弘	四七	
愛が羽ばたく（佐賀空港音頭）	井上 融	四八	
しらはまのいそしき	井上 允	四九	
雨月物語	井昭治	五〇	
KARAYUKI—カラユキさん—	井村 幸男	五一	
いないない婆あー	岩田 道之輔	五二	
愛してたもれ	碓氷 夕焼	五三	
朝の月	内山 和樹	五四	
うぐいす	宇都宮 美代	五六	
ヨコハマよ	和樹	五六	
華紬	清太郎	五六	
まつりばやし	恵谷 るり	五七	
夫婦神楽	海老原 秀元	五八	
		五九	

人生いつもお年頃	大崎	二三子	六〇
海猫酒場	大澤陽央	六一	
アンティイ	大前裕子	六二	
黒潮丸	大屋詩起	六三	
浜の恋唄	岡崎恵	六四	
夢道樂	岡崎ふぐみ	六五	
玄海恋日記	小川妙子	六六	
夕照の鐘	小川崎	六七	
苦労道連れ	小川比富美	六八	
さね葛	小川豊	六九	
さね妹へ贈る歌	小山おさべ	七〇	
温泉渡り鳥	小山真理	七一	
番屋の女	折井一光	七二	
野焼	折井雪絵	七三	
男と女のわらべうた	加藤市平	七四	
ふるさとに帰つてみれば	加藤テル	七五	
ヤンママでーす	香取翔子	七六	
シングル同士	山谷怜沙	七七	
じょんがらひとり旅	山谷作	七八	
糸とり伝説	金谷怜	七八	
情け雨	金谷志	七八	
夢までアダージョ	川端光	七八	
任侠の世界	川端美	七八	
あのふる里へ	川村雄	七八	
雪割草	一希はじめ	八〇	
北大路	八三	八一	
実由樹	八三	八二	
	八四	八三	

秋 櫻 慕 情	木 立 雄 幸	八五
ラストフライト	北 見	なぎさ
人 生 流 れ 雲	繖	一年
愛 の 蔓 草	木 下 由 紀 子	八八
神崎与五郎東下り	木 下 龍 太 郎	八九
日韓友好に捧げた人生	王 姫 方 子 様 貴 船	たゞし
哀 愁 旅 路	木 村 壮 吉	九一
私のあんた	木 村 賢 司	九二
さすらいびと	久 仁 京 介	九三
化 粧	坂 国 井 ただし	九四
芸 道 一 筋	國 枝 星 志	九五
愛は霧の彼方で	倉 嶋 雅 三	九七
乾杯幸せパラダイス	倉 田 正 明	九八
いい人生をありがとう	窪 田 和 男	九六
夢 無 情	黒 川 良 人	九九
気をつけなくちゃ	甲 元 良 典	一〇一
人 生 夫 婦 川	小 島 高 志	一〇二
母 椿	小 島 哲	一〇三
おんなの波止場	小 島 一	一〇七
男 星	五 城 しげみ	一〇四
夕なぎのひろしま	こだま まさこ	一〇五
おんなしぐれ	五 藤 力 麗	一〇六
噂 の し づ く	こばやし 克 至	一〇七
北 港	小 林 たけし	一〇八
敗 れ て も	五 分 木 敦 美	一〇九

人生酒場	小宮正人	一一〇
東京うさぎ	近藤英子	一一一
着たきり雀	近藤しげる	一一三
夢詩集	紺野あづさ	一三三
寿し	彩良好	一四四
愛されて	さいとう大三	一四五
宮ヶ瀬の女	斎藤葉月	一六六
昭和贊歌	坂口照幸	一七七
わけあり人生	堀川温子	一七八
タクシー屋ぶるーす	嵯峨井	一八八
へそまがりの女	櫻本繁	一九九
愛の回帰線	迫ひろし	二二二
日高山脈一四〇キロ	佐々木安伸	二三三
田舎線よ（カントリー・ロード）	佐田英介	二三三
幻影が電車に乗つてくる	佐藤ひでお	二三四
花いのち	佐藤秀千代	二五五
万斛の涙	佐藤善孝	二六六
友と別れ	佐野昌一	二七七
雪灯り	英威子	二八八
い・ま・さ・ら	椎名英介	二九九
さあて、お立ち会い	志賀大介	二三〇
陽の男	篠山和美	二三一
鯨のかたちに雲がゆく	瑠璃美子	二三二
龍馬旅立ち	田邦博	二三三
つよがりメランコリー	下地亜記子	二三四

月 の 舟	下 野 登美子	一三五
夢をにぎにぎ（子守唄）	白 河 時 夫	一三六
花 時 間	城 岡 れい	一三七
はぐれカモメ	しんのりょう	一三八
博愛に散つた 青春	新 保 治 平	一三九
微笑みの花束	末 次 正 藏	一四〇
大偉なるアイヌプリ	菅 野 政 義	一四一
ケ チ	木 紀 代	一四二
私のふるさと	木 昭 子	一四三
酔 芙 蓉	木 清 子	一四三
静 御 前	木 信 子	一四五
恋 歌 鈴	木 代	一四六
だ つ 歌 鈴	田 厚 子	一四七
甘え上手	須 田 厚 子	一四七
海 ふところ	関 口 茂 樹	一四八
ある日の午後	妹 尾 恵美子	一五〇
ときめいて今	曾 我 幸 義	一五一
リセット	木 田 厚 子	一五二
城崎の女	園 さ か	一五三
くしゃみの歌	木 か ち	一五三
さよならを云いたくて	木 一 男	一五四
港 屋	田 れい子	一五五
かりそめの宿	塚 和 美	一五六
君ヶ浜慕情	野 礼 子	一五七
ホームレスの一言 浮世川	耕 作	一五八

故郷酒	高橋ひでお	一六〇
純米造り酒	高橋ゆきを	一六一
かくれんぼ	高畠和之	一六二
魚監坂	高畠じゅん子	一六三
新宿思い出横丁	高林こうこ	一六四
北の波止場町	高安弘	一六五
修羅雪ものがたり	多岐川まさし	一六六
ためらい	滝田常晴	一六七
鳩のよう	たくわん	一六八
やよい雨	田々じゅん	一六九
夫婦心情	立川加根依	一七〇
想い出風船	田中いぶき	一七一
ひとりみちのく	田中砂千雄	一七二
北風の母	たなかゆきを	一七三
野菊のような君だつた	谷口千郷	一七四
水化身	たにはら伸	一七五
涙づれ	多野亮	一七六
小さな足	玉利要	一七七
あぶない女になりそう	千秋かな	一七八
あいつのブルース	千葉幸雄	一七九
連絡船恋歌	津岡政信	一八〇
通せんぼ・かくれんぼ	司ジロー	一八一
ひとり咲き	津久井ひろし	一八二
赤目四十八滝	対馬慎一郎	一八三
極楽とんぼ	土屋正敬	一八四

屋台ぐらし	つるぎ	まさる	一八五
奇跡の祈り	照沼	寛	一八六
忘れるために	天間館	武美	一八七
ホーイム	冬	夏	一八八
恋の悲願花	戸川智砂子	敏	一九〇
川岸の柳に夜は更けて	豊岡		
恋のレインボウ・ブリッジ	鳥羽貞子	一九一	
花ごよみ	中村程	しま子	一九二
恩讐の彼方に	中村美智子	一九三	
裸足のモナリザ	中村要子	一九四	
夫婦心	中村よしかず	一九五	
旅・ふたたび	中山大三郎	一九六	
最北の宿	長山たかのり	一九七	
一 つ	那須野巖	一九八	
急がばまわれの人生だ	仁井谷俊也	一九九	
親見草	西本健郎	二〇一	
いけません	丹羽敏彦	二〇二	
夫婦屋台	根岸利仁	二〇三	
旅路の果てに	沼川淳	二〇四	
二人の門出	根本昌幸	二〇五	
父	野沢喜久男	二〇六	
家族つていいね	能勢英男	二〇七	
パジャマのボタン	のたきひであき	二〇八	
親子獅子	野村耕三	二〇九	

悶え	妖艶	ハギワラ 照生	一一〇
人生二人みち		羽澤 文子	一一一
人生 相撲模様		八田 満	一一二
万葉 哀歌		花田 ひろし	一一三
トロッコ列車		浜岡 三郎	一一四
比翼の鳥よ		浜岡 三郎	一一五
寒苦 鳥		はらあきら	一一六
凧々あがれ —悪い女が 流行る時代—	原	文彦	一一七
かたかげ恋情		平井 健	一一八
哀愁・風の盆		藤岡 和子	一一九
今は 幻	麓	霧子	一二〇
なごり雪の宿		古江 八恵子	一二一
ふるさとさん	ぼく	はじめ	一二二
三 角 形	星合	節子	一二三
望郷 酒	星川	成一	一二四
ルルイ恋しや	星野	哲郎	一二五
忍び 駒	細川	ふみ子	一二六
京灯かり	堀	たる翔	一二七
想い出波止場	ほたる	翔	一二八
砂聖	絹美子	繁義	一二九
哀愁・杣のひと	田	茂	一三〇
花のブルース	木	間井	一三一
酒場 「縁」	松尾	由利夫	一三二
北どまり	松生	和彦	一三三
松	静		一三四

初恋	桜島	松本眞二	三五
泣いているのか		松本眞子	三六
哀しみの序曲		井田博	三七
愛しの女		浦清二	三八
女のまごころ		浦康照	三九
素敵に婆ちゃんしています	みお	こうすけ	四〇
人生どんどん逆もどり		美貴裕子	四一
別れた女に似てる女		木政和	四二
海の物語		木里こうじ	四三
こんなちは／こんほんは／またあした	美嶋	景	四四
センター街のいかれたDJ	水木れいじ		四五
恋おんな	水野節子		四六
弱虫・泣き虫・女虫	水星圭子		四七
雪の宿	由一		四八
未来を見て	南澤哲也		四九
悪い女になりました	峰よしを		五〇
人生夢料理	峰崎林二郎		五一
能登の篝火	宮内たけし		五二
ヨルガオ慕情	みやけ知絵		五三
恋のつくつく法師	宮崎テルミ		五四
波瀬万丈　いいじやない	みやの舞		五五
時の流れに	深山静華		五六
愛山河	宮原哲夫		五七
さるすべり	村上志賀子		五八
山おろし			五九
紫野ゆき			

アフターシェーブローション	室井 隆	二六〇
バラと子守唄	もず 唱平	二六一
萱野三平 涙の忠臣蔵	本池昭弘	二六二
世界遺産登録記念歌 白川郷	森省三	二六三
今でも待つてるわ	森田えい美	二六四
兄弟演歌	木吾郎	二六五
初恋のあなたへ	矢坂秀司	二六六
絵 手 紙	坂みやび	二六七
愛むげん（無限・夢幻）	やま一央	二六八
水平線の夕日影	山岸まさし	二六九
京都春夏秋冬	山北由希夫	二七〇
花 野 菊	山崎有道	二七一
アカシアの道	山崎ふみえ	二七二
この海 渡れば	山下晃一	二七三
哀しい女のサンバ	山田孝雄	二七四
美空ひばり追悼歌 昭和の歌姫	山田那津子	二七五
男 の 誇 り	山田博康	二七六
男 の 孤 独	山田博康	二七七
あなたお願ひ	山野由美	二七八
未来との約束	山川れい子	二七九
首振り人生	湯川かおり	二八〇
セース ファンタジー	夢森葉子	二八一
湯 の 花 模様	吉岡哲也	二八二
青ざ戻った日本海	よしだ純	二八三
神戸は…… あなたの街なのね	吉田博司	二八四

表題  
紙字  
吉星野哲郎

大阪・あかんたれ	吉田よし子	二八五
長月の雨	吉本歌世	二八六
惜春	連達人	二八七
男の心情	若林澄人	二八八
二十歳の祝い酒	若松かつ子	二八九
かたくりの花	秀美	二九〇
恋かげろう	渡辺和於	二九一
落日（過ぎし日は帰らない）	雪	二九二